

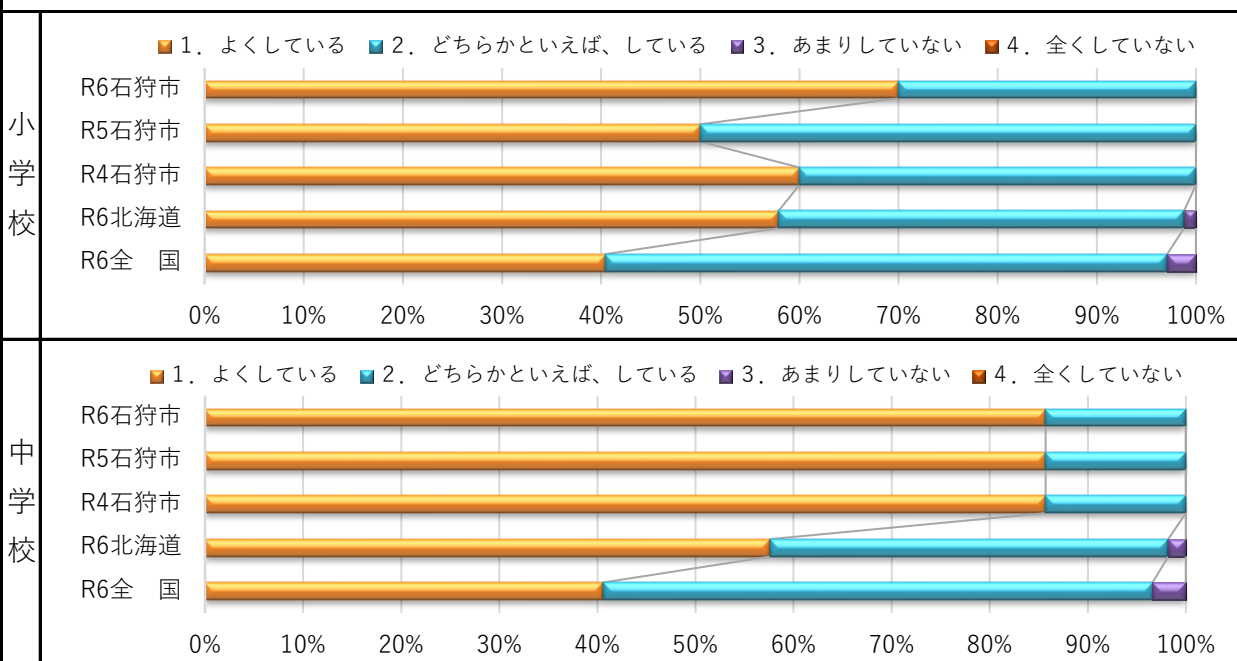
## I 学校運営に関する状況

### [改善の方向性]

- 学校課題の解明に向かう組織的な取組の推進
- 児童・生徒の実態や地域の現状に基づいたカリキュラムマネジメントの推進

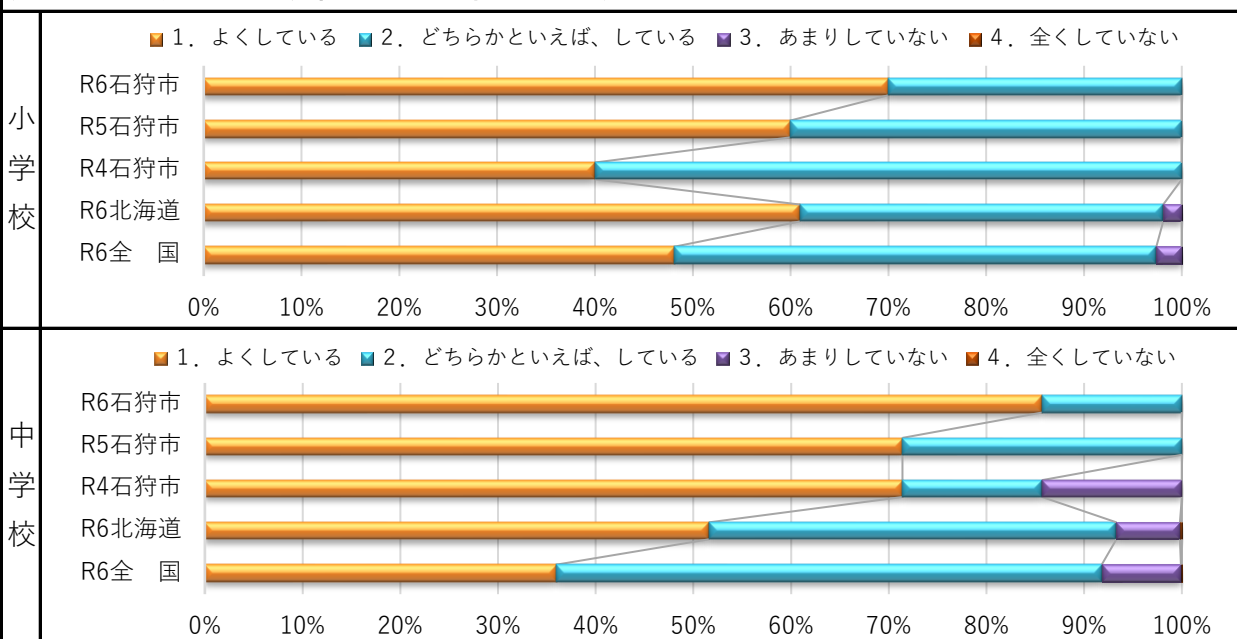
・「調査や各種データに基づき、教育課程のPDCAサイクルの確立をよくしている」割合は、小学校で70.0%(全国比+29.6ポイント、全道比+12.1ポイント)、中学校で85.7%(全国比+45.2ポイント、全道比+28.1ポイント)でした。

### 1. 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



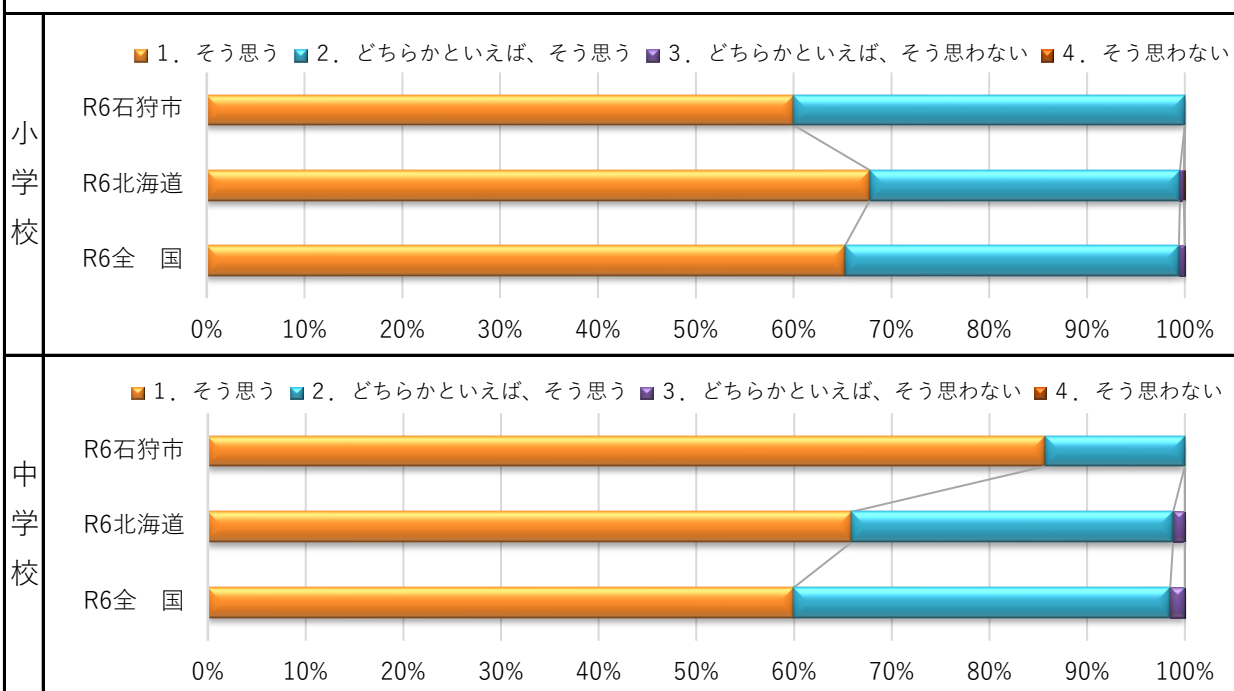
・「指導計画の作成に当たっては、教育内容と人的・物的資源を効果的に組み合わせている」割合は、小学校で70.0%(全国比+21.9ポイント、全道比+9.1ポイント)、中学校で85.7%(全国比+49.7ポイント、全道比+34.1ポイント)でした。

### 2. 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



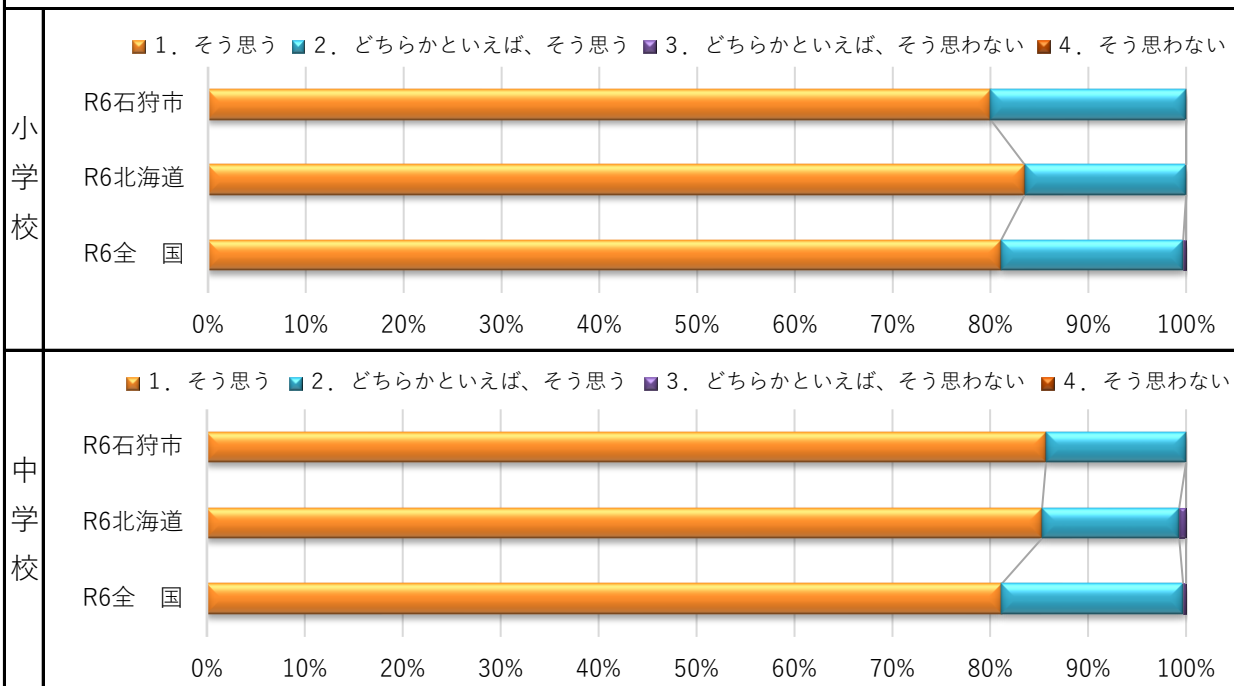
・「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいる」割合は、小学校で60.0%(全国比-5.2ポイント、全道比-7.8ポイント)、中学校で85.7%(全国比+25.8ポイント、全道比+19.8ポイント)でした。

### 3. 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか



・「各児童生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換している」の割合は、小学校で80.0%(全国比-1.0ポイント、全道比-3.5ポイント)、中学校で85.7%(全国比+4.6ポイント、全道比+0.4ポイント)でした。

### 4. 各児童生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか



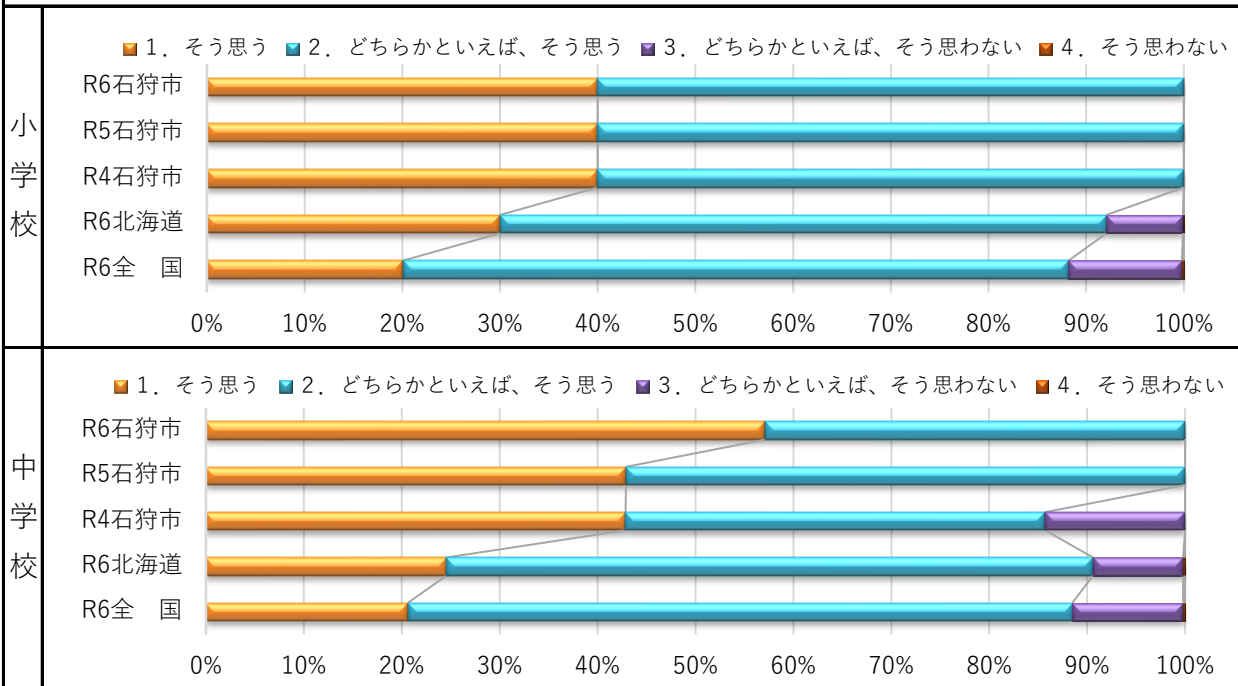
## II 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組状況

### 〔改善の方向性〕

#### ○個別最適な学び・協働的な学びを推進し、子どもが主語となる授業改善の推進

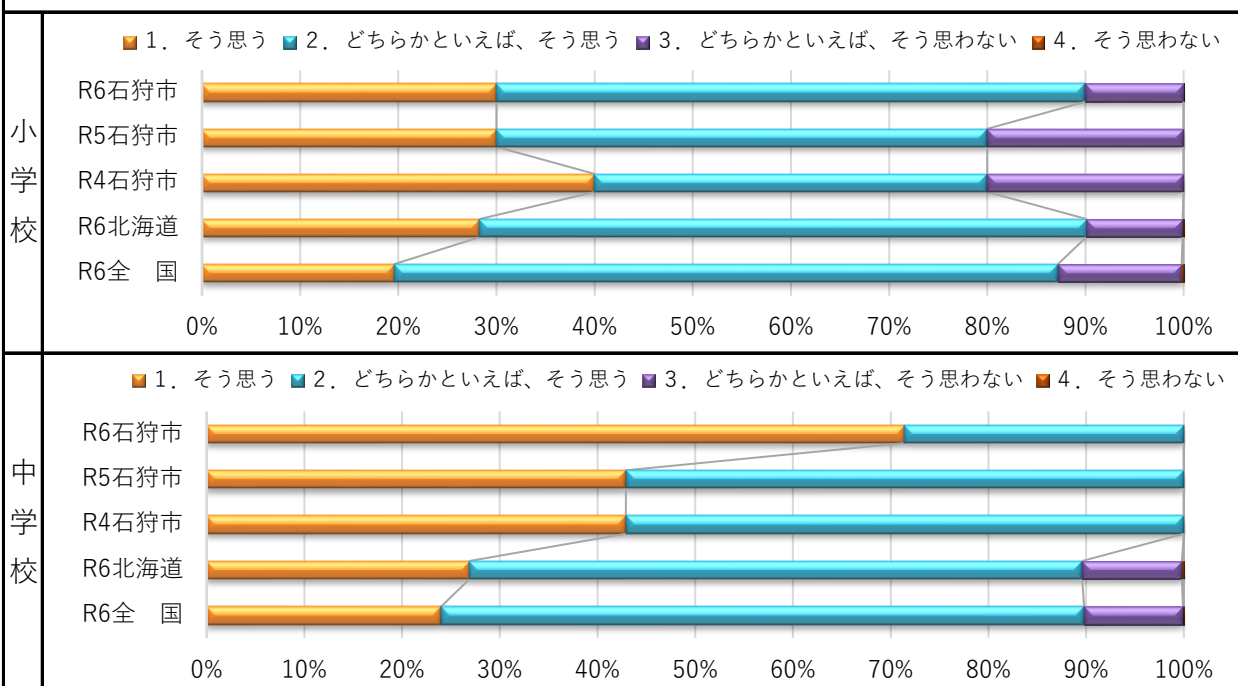
・「児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う」割合は、小学校で40.0%(全国比+19.9ポイント、全道比+10.0ポイント)、中学校で57.1%(全国比+36.5ポイント、全道比+32.5ポイント)でした。

#### 5. 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



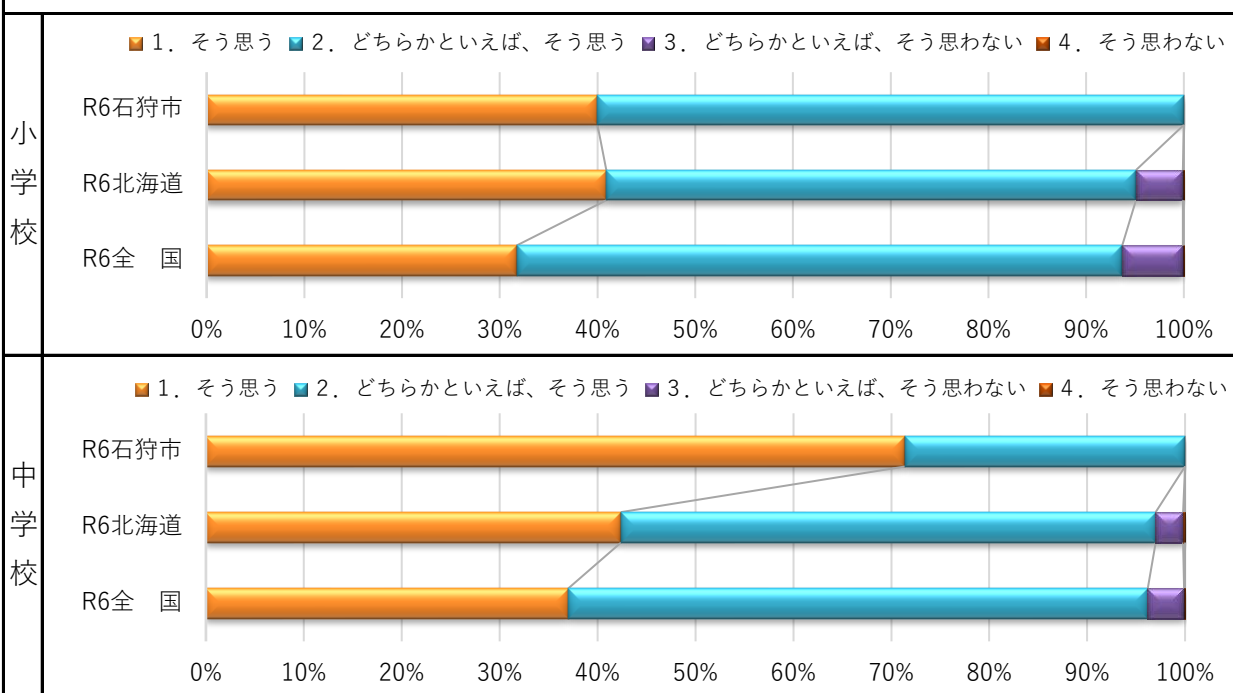
・「児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思う」割合は、小学校で30.0%(全国比+10.4ポイント、全道比+1.7ポイント)、中学校で71.4%(全国比+47.4ポイント、全道比+44.5ポイント)でした。

#### 6. 調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



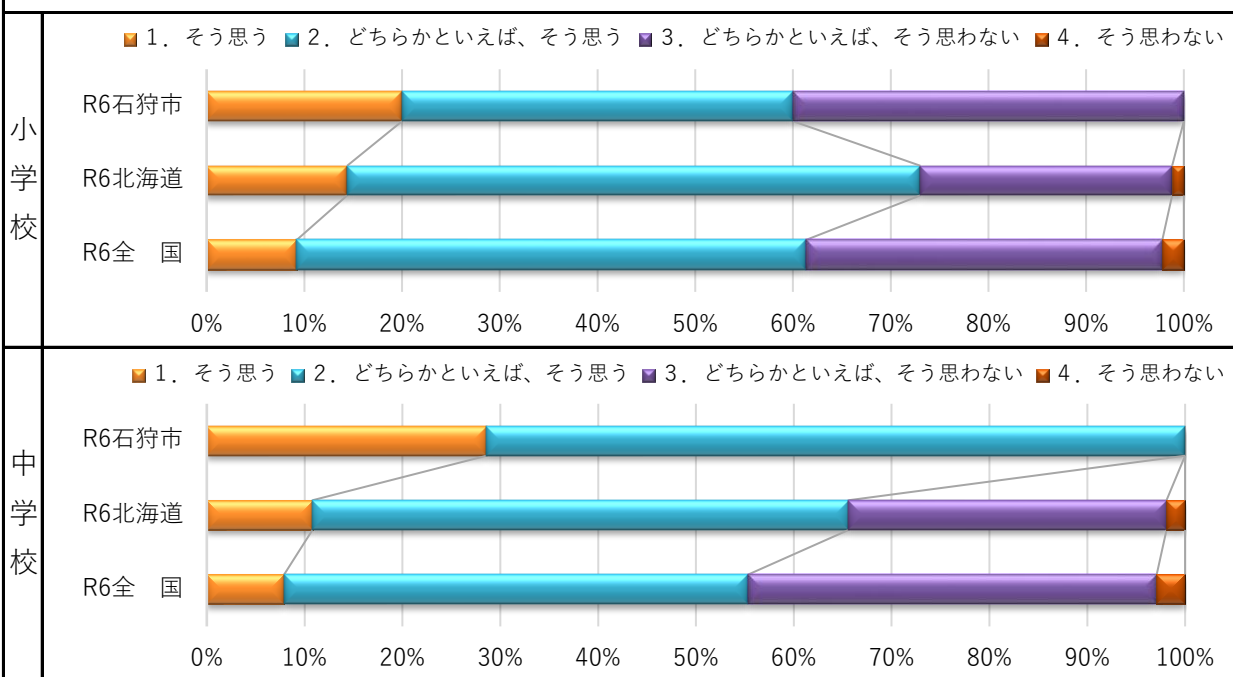
・「児童生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思う」割合は、小学校で40.0%(全国比+8.3ポイント、全道比-0.9ポイント)、中学校で71.4%(全国比+34.4ポイント、全道比+29.0ポイント)でした。

**7. 調査対象学年の児童生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか**



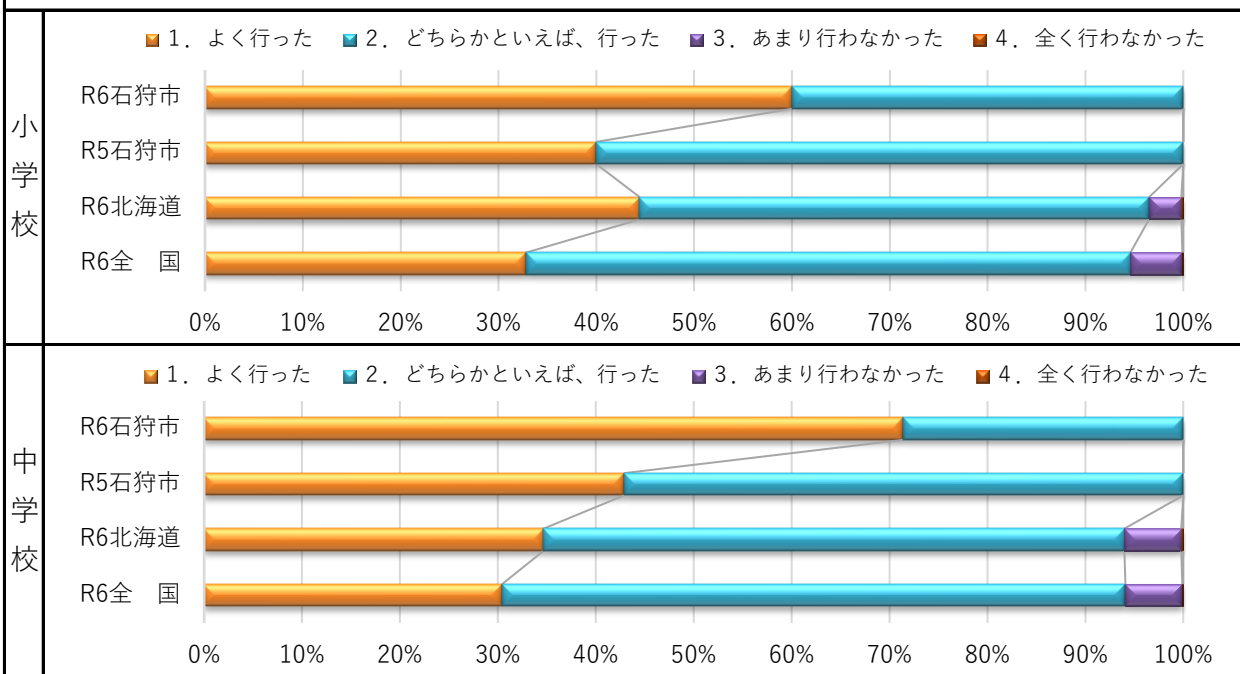
・「児童生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動をよく行っていると思う」割合は、小学校で20.0%(全国比+10.8ポイント、全道比+5.6ポイント)、中学校で28.6%(全国比+20.7ポイント、全道比+17.8ポイント)でした。

**8. 調査対象学年の児童生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか**



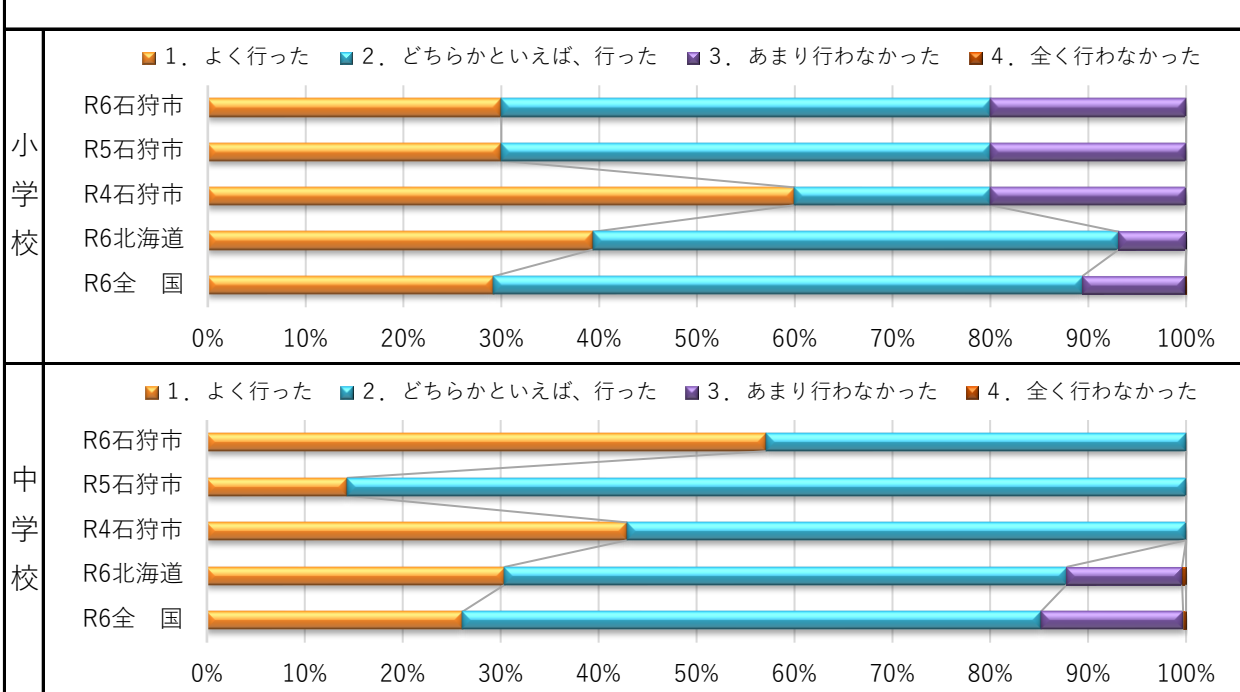
・「児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動をよく工夫した」割合は、小学校で60.0%(全国比+27.2ポイント、全道比+15.6ポイント)、中学校で71.4%(全国比+41.0ポイント、全道比+36.8ポイント)でした。

**9. 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか**



・「児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動をよく取り入れた」割合は、小学校で30.0%(全国比+0.8ポイント、全道比-9.4ポイント)、中学校で57.1%(全国比+31.0ポイント、全道比+26.7ポイント)でした。

**10. 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか**



### Ⅲ 国語、算数・数学の指導方法

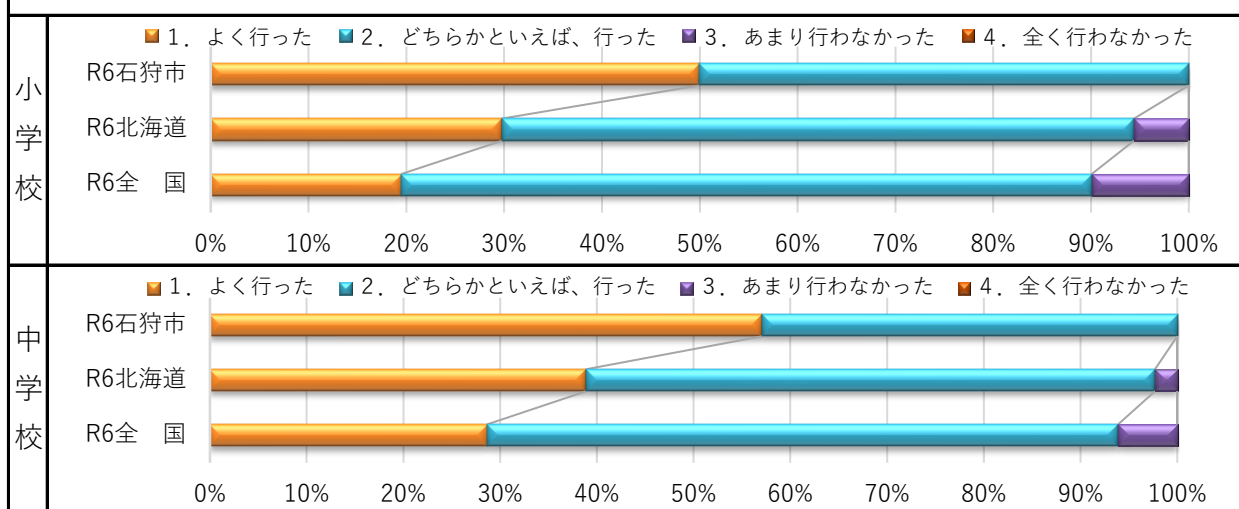
#### 【改善の方向性】

- 授業を通して育成を目指す資質・能力の明確化と効果的な学習活動の設定
- 自身の学びや変容を自覚しながら、学びに向かう力を高める単元デザインの工夫

・小学校で「国語の授業において、前年度までに、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導をよく行った」割合は、50.0%(全国比+30.5ポイント、全道比+20.2ポイント)でした。

・中学校で「国語の授業において、前年度までに、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導をよく行った」割合は、57.1%(全国比+28.4ポイント、全道比+18.2ポイント)でした。

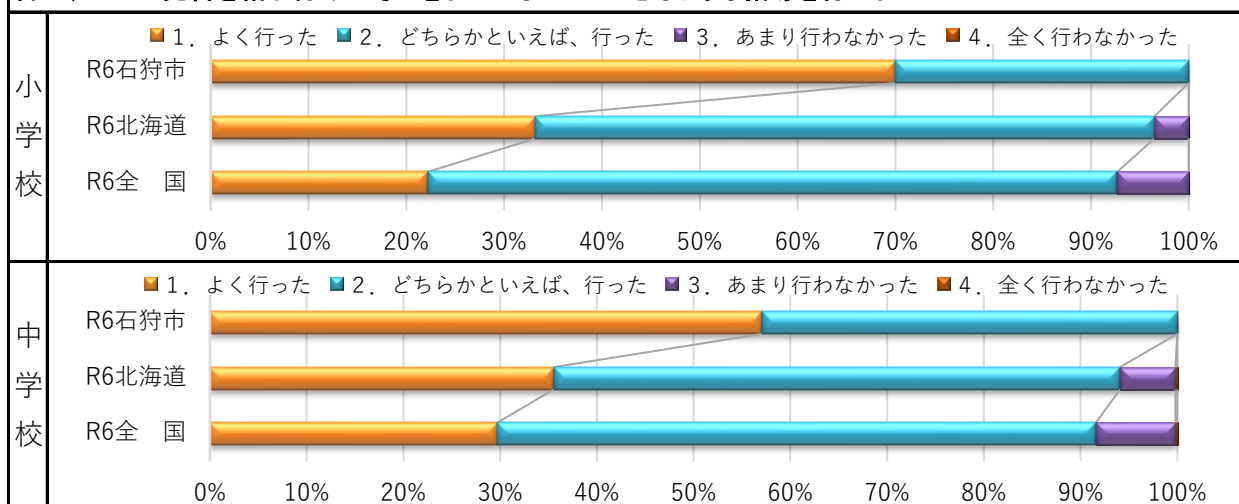
#### 11. 【小学校】調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか 【中学校】調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行いましたか



・小学校で「国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導をよく行った」割合は、70.0%(全国比+47.8ポイント、全道比+36.8ポイント)でした。

・中学校で「国語の授業において、前年度までに、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導をよく行った」割合は、57.1%(全国比+27.4ポイント、全道比+21.6ポイント)でした。

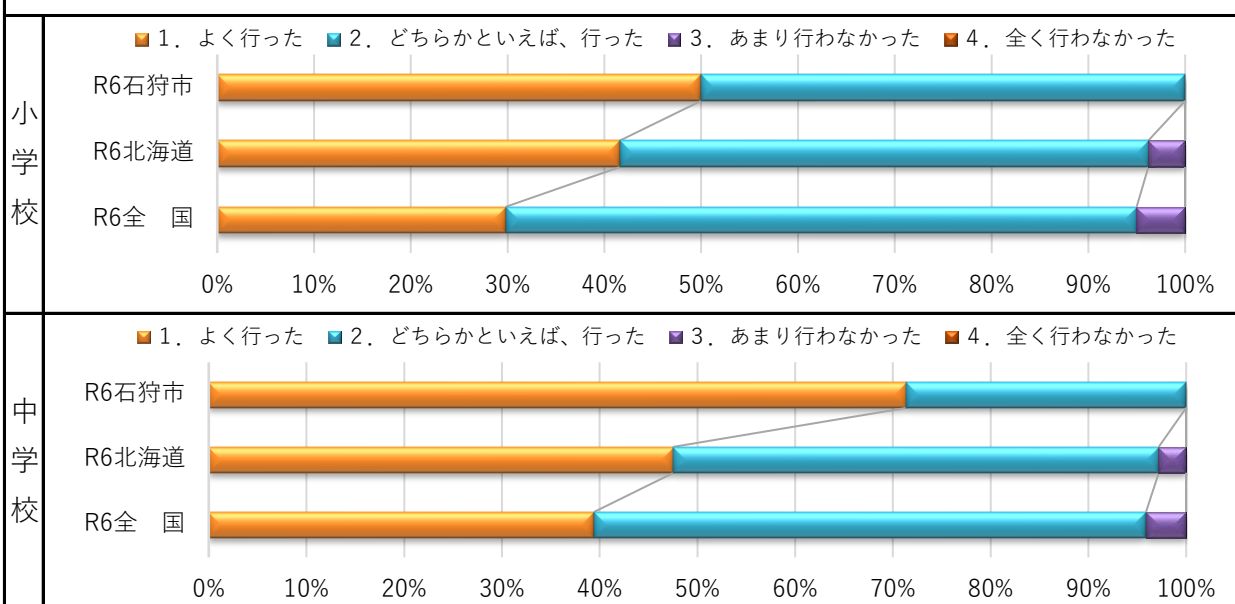
#### 12. 【小学校】調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか 【中学校】調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行いましたか



・小学校で「国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導をよく行った」割合は、50.0%(全国比+20.2ポイント、全道比+8.4ポイント)でした。

・中学校で「国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導をよく行った」割合は、71.4%(全国比+32.0ポイント、全道比+23.9ポイント)でした。

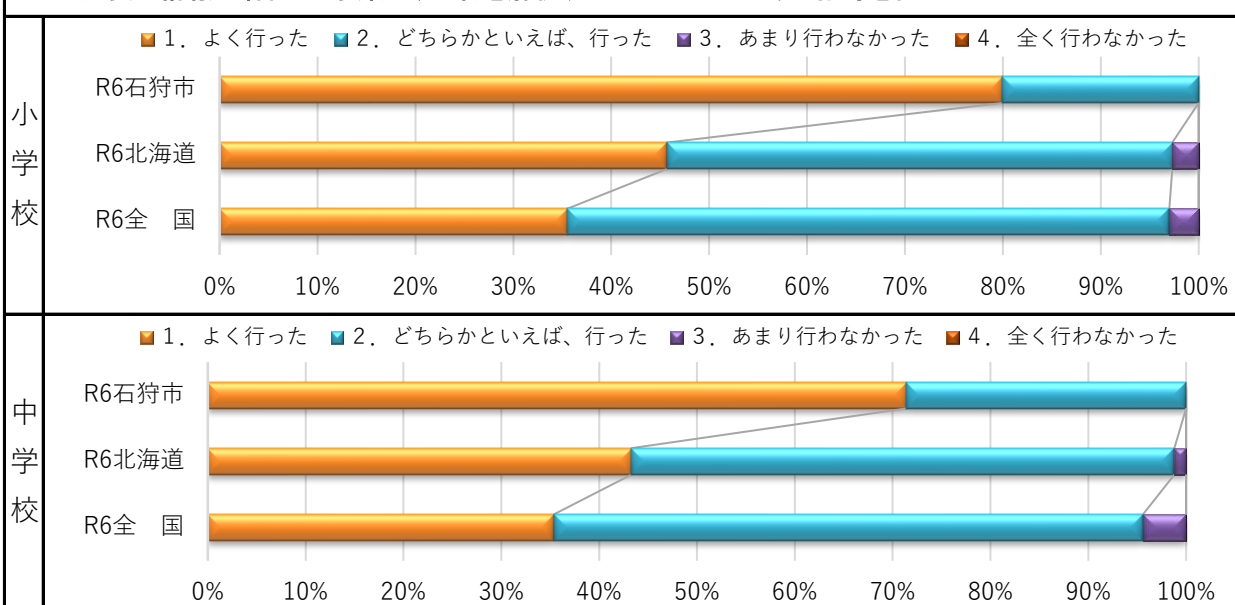
**13. 【小学校】調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか**  
**【中学校】調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行いましたか**



・小学校で「国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導をよく行った」割合は、80.0%(全国比+44.5ポイント、全道比+34.3ポイント)でした。

・中学校で「国語の授業において、前年度までに、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導をよく行った」割合は、71.4%(全国比+36.1ポイント、全道比+28.1ポイント)でした。

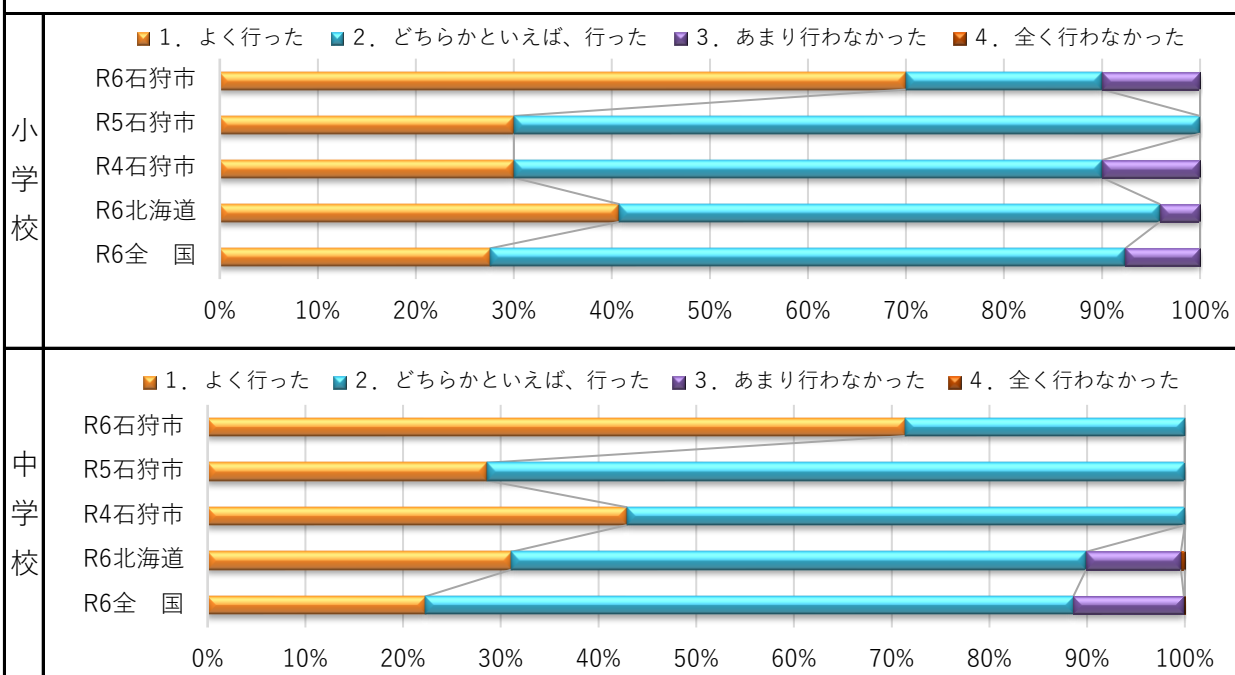
**14. 【小学校】調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか**  
**【中学校】調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導を行いましたか**





・「算数・数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った」割合は小学校で70.0%(全国比+42.4ポイント、全道比+29.2ポイント)、中学校で71.4%(全国比+49.1ポイント、全道比+40.3ポイント)でした。

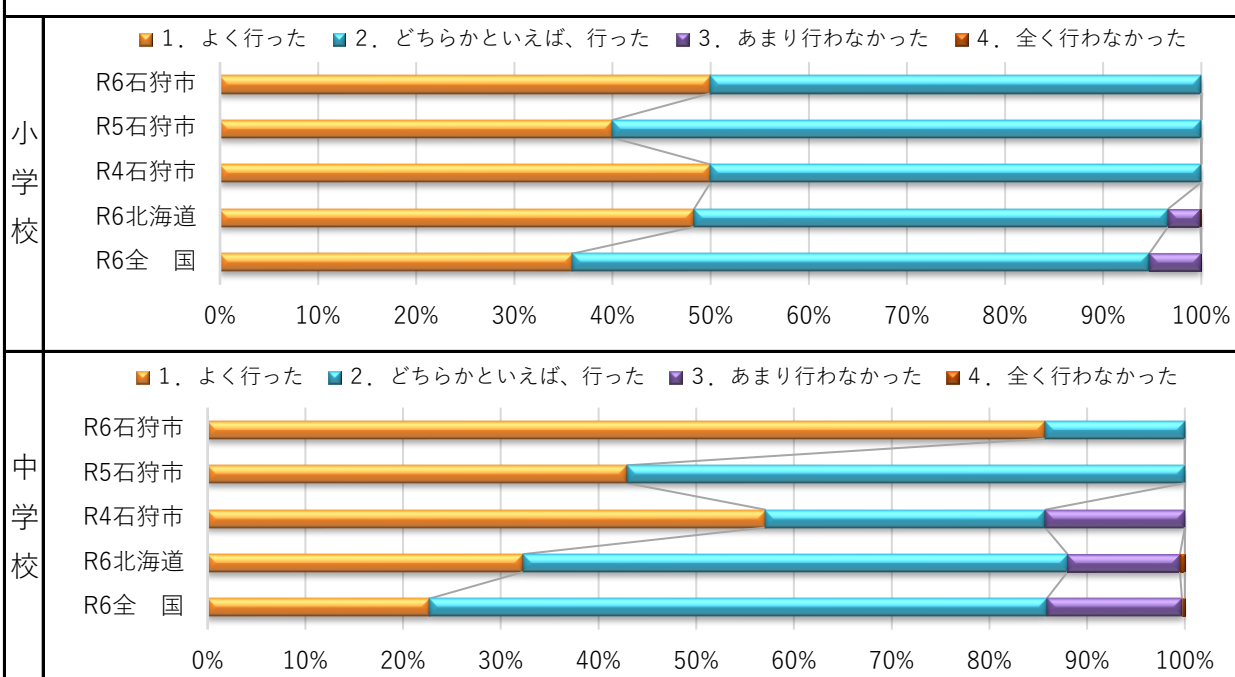
**15. 調査対象学年の児童生徒に対する算数・数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか**



・小学校で「算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動をよく行った」割合は、50.0%(全国比+14.1ポイント、全道比+1.7ポイント)でした。

・中学校で「数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動をよく行った」割合は、85.7%(全国比+63.0ポイント、全道比+53.4ポイント)でした。

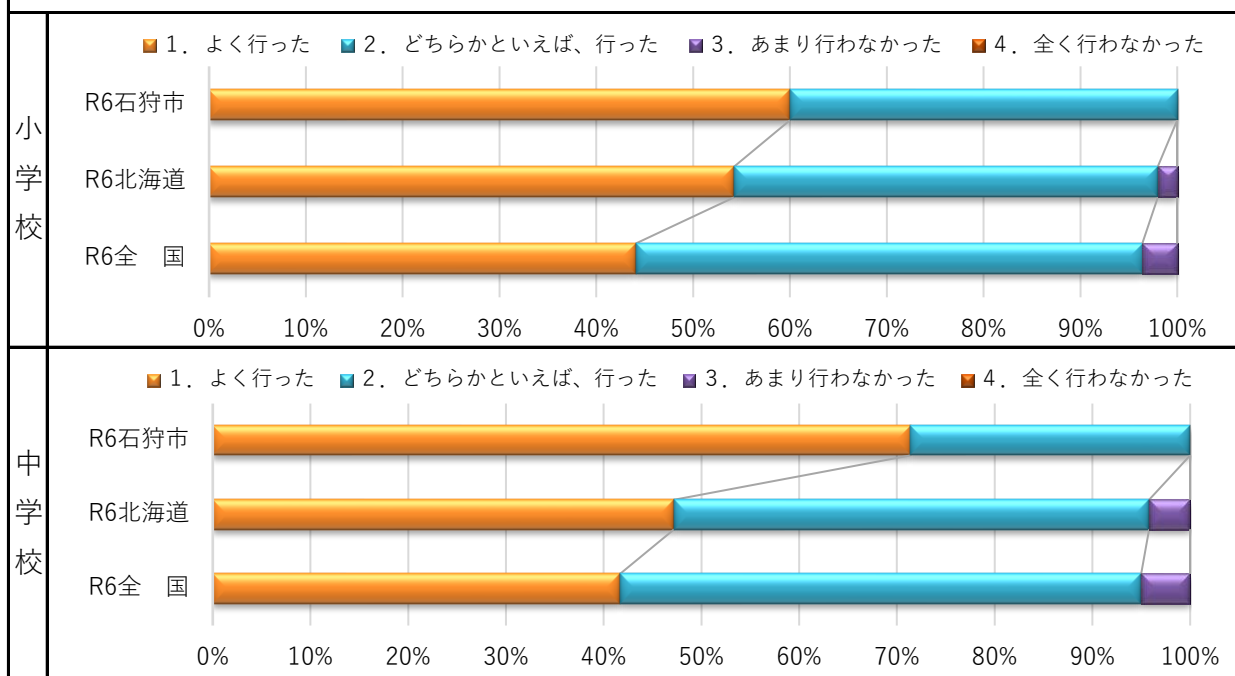
**16. 【小学校】調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか  
【中学校】調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか**





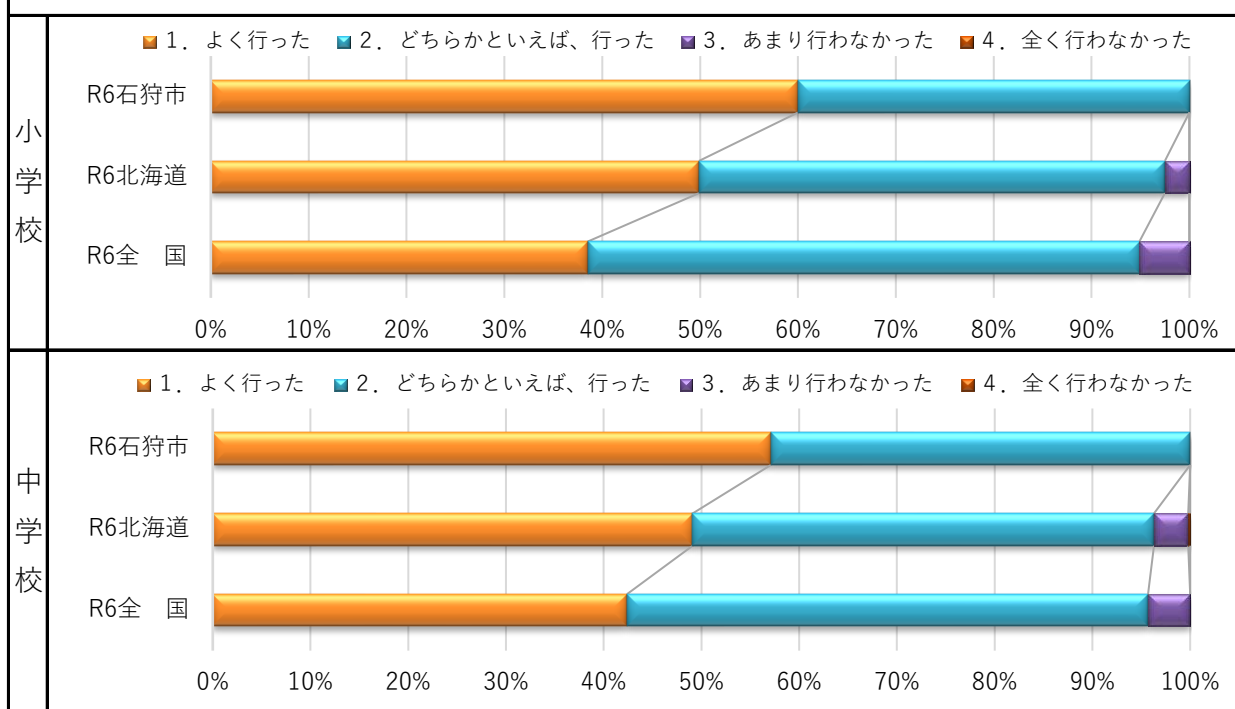
・「算数・数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童生徒に筋道を立てて説明させるような授業をよく行った」割合は、小学校で60.0%(全国比+16.0ポイント、全道比+5.8ポイント)、中学校で71.4%(全国比+29.8ポイント、全道比+24.2ポイント)でした。

**17. 調査対象学年の児童に対する算数・数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか**



・「算数・数学の授業において、前年度までに、児童生徒がどのようなことにつまずくのかを想定した指導をよく行った」割合は、小学校で60.0%(全国比+21.5ポイント、全道比+10.1ポイント)、中学校で57.1%(全国比+14.8ポイント、全道比+8.0ポイント)でした。

**18. 調査対象学年の児童生徒に対する算数・数学の授業において、前年度までに、児童生徒がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか**



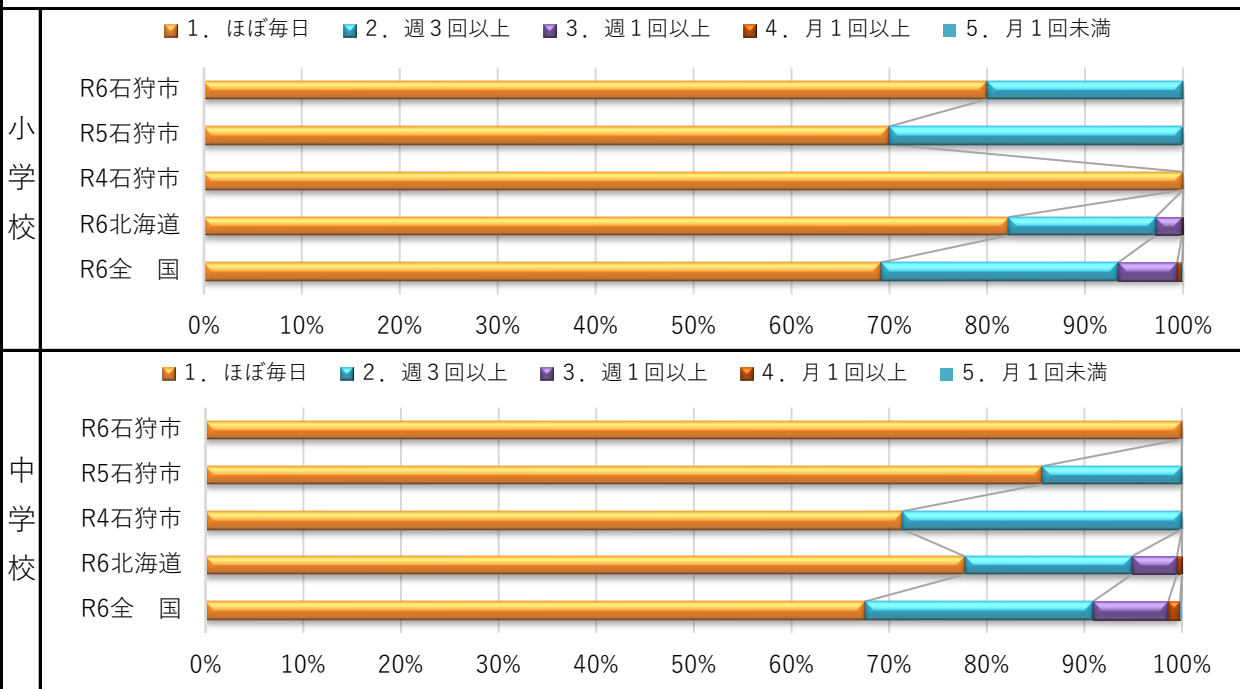
## Ⅳ ICTを活用した学習状況

### 〔改善の方向性〕

#### OICTを有効に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の推進

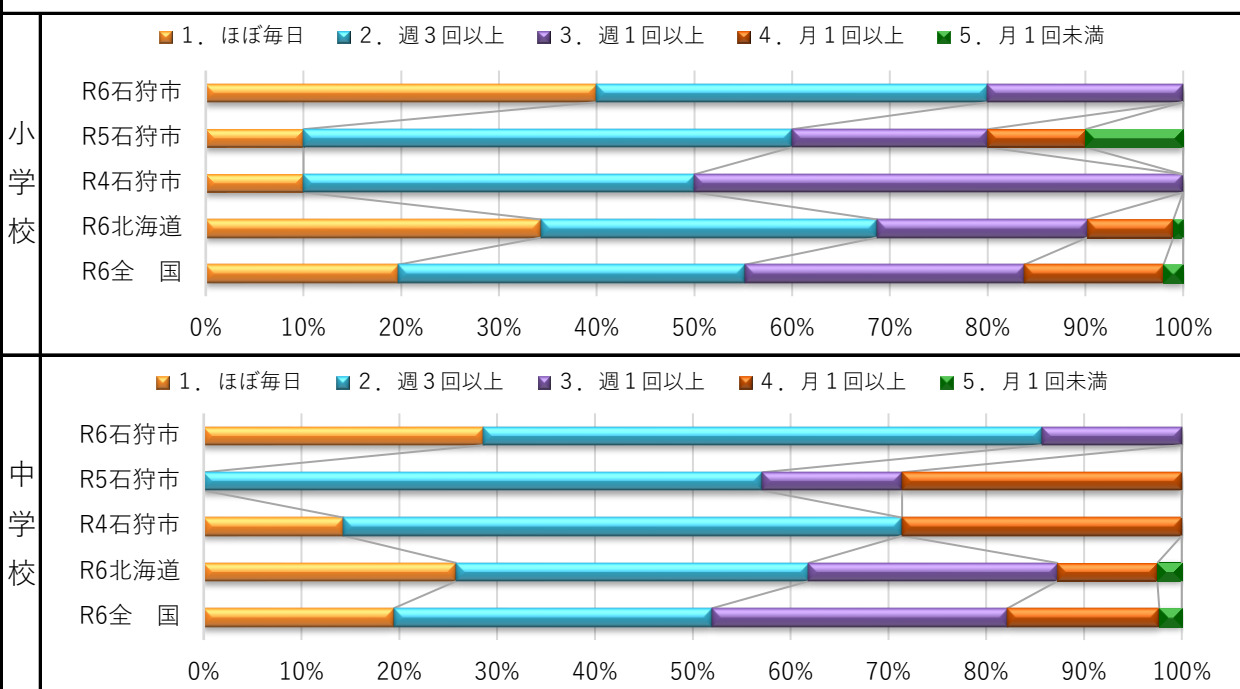
・「児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でほぼ毎日活用した」割合は、小学校で80.0%(全国比+11.0ポイント、全道比-2.1ポイント)、中学校で100%(全国比+32.5ポイント、全道比+22.4ポイント)でした。

#### 19. 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



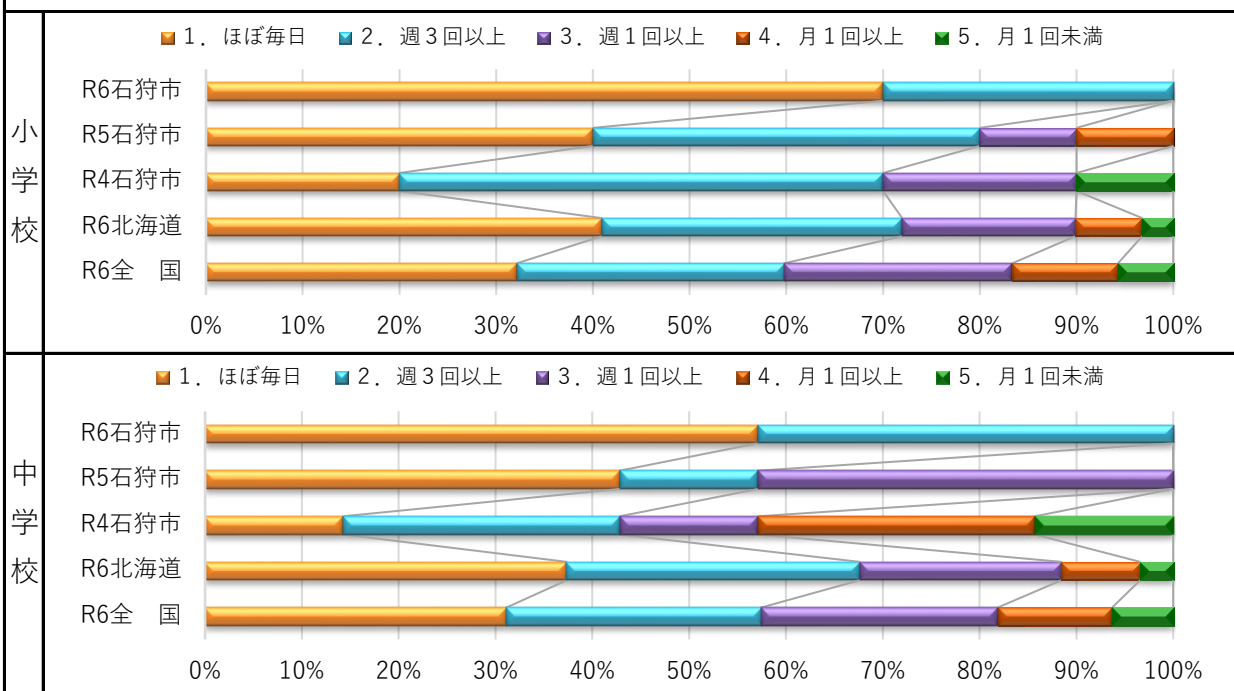
・「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させた」割合は、小学校で40.0%(全国比+20.3ポイント、全道比+5.7ポイント)、中学校で28.6%(全国比+9.2ポイント、全道比+2.8ポイント)でした。

#### 20. 調査対象学年の児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



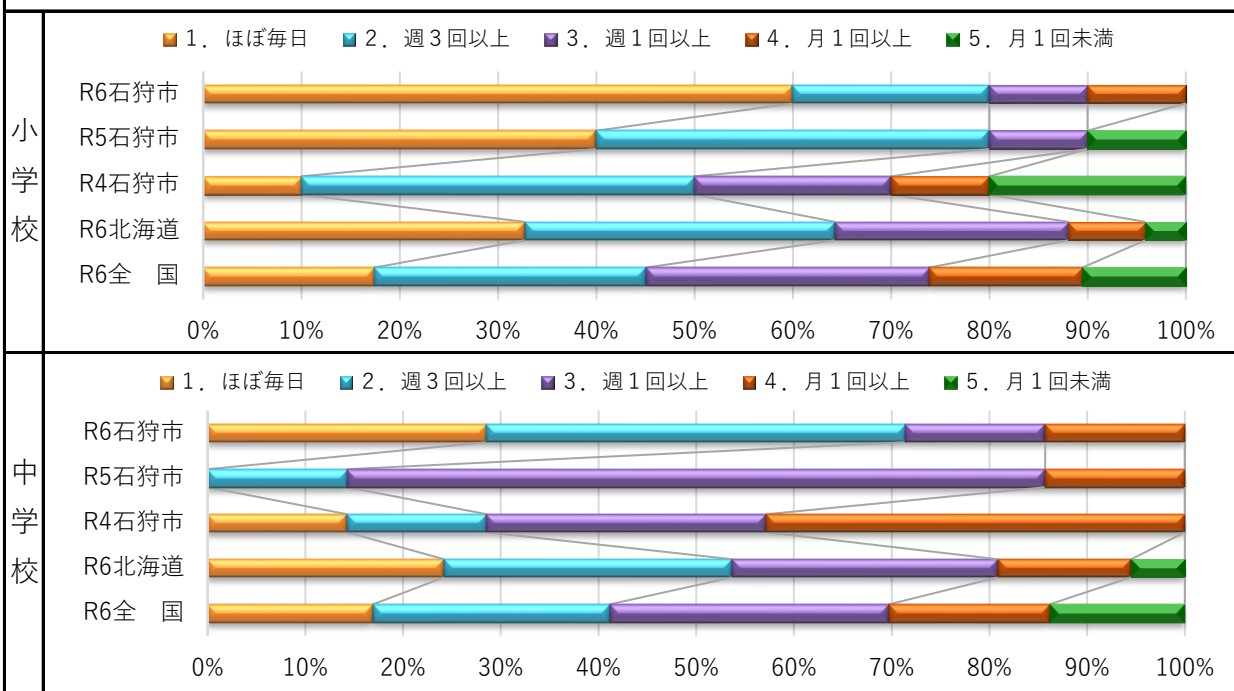
・「教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させた」割合は、小学校で70.0%(全国比+37.9ポイント、全道比+29.1ポイント)、中学校で57.1%(全国比+26.0ポイント、全道比+19.8ポイント)でした。

**21. 教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか**



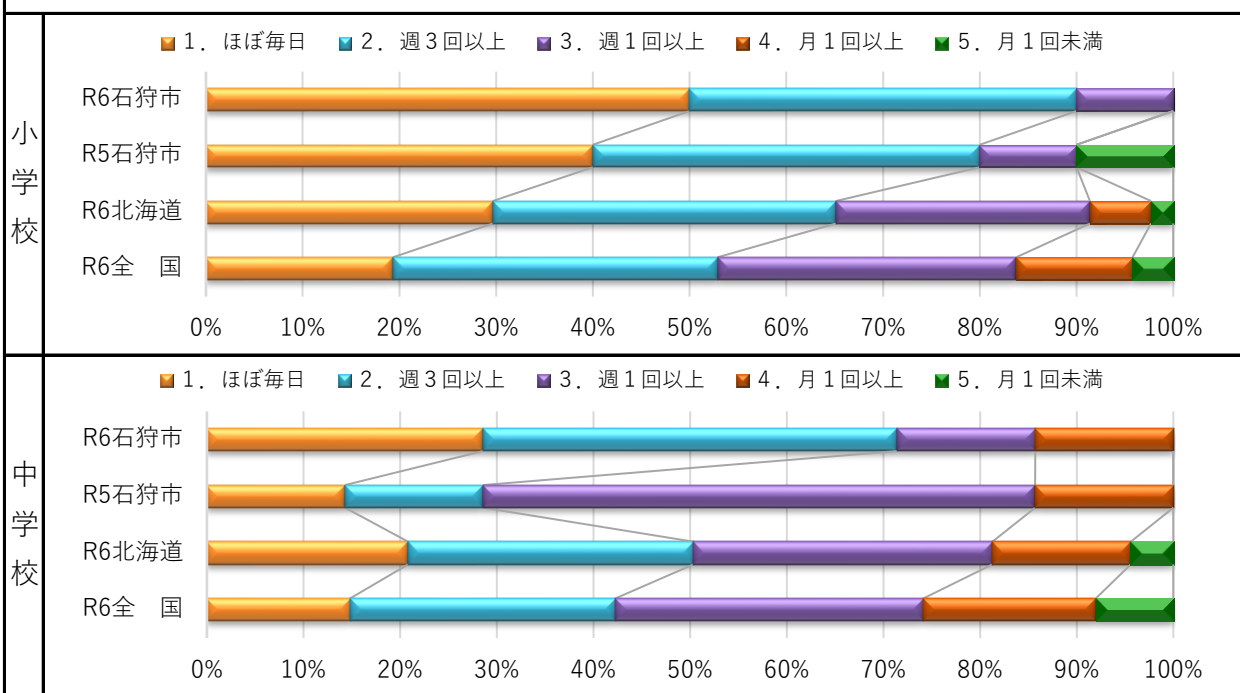
・「調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させた」割合は、小学校で60.0%(全国比+42.6ポイント、全道比+27.3ポイント)、中学校で28.6%(全国比+11.7ポイント、全道比+4.4ポイント)でした。

**22. 調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか**



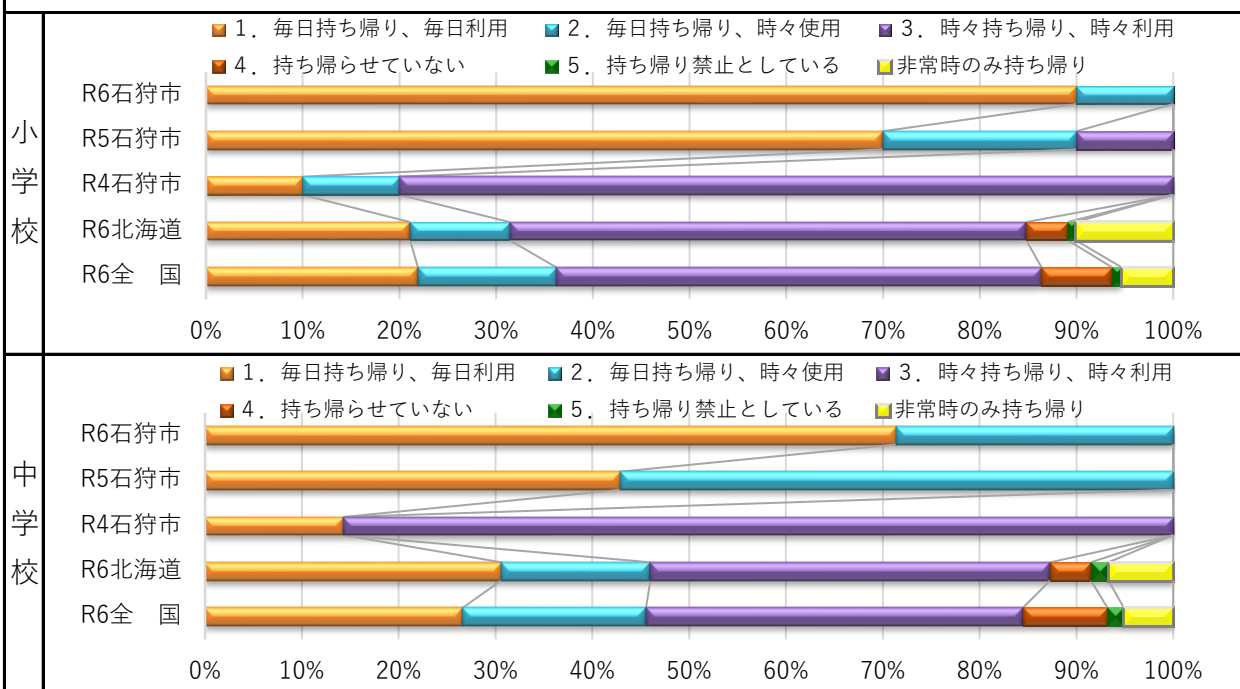
・「調査対象学年の児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させた」割合は、小学校で50.0%(全国比+30.7ポイント、全道比+20.4ポイント)、中学校で28.6%(全国比+13.8ポイント、全道比+7.8ポイント)でした。

**23. 調査対象学年の児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか**



・「児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、ほぼ毎日家庭で利用できるようにした」割合は、小学校で90.0%(全国比+68.1ポイント、全道比+68.9ポイント)、中学校で71.4%(全国比+44.8ポイント、全道比+40.8ポイント)でした。

**24. 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか**



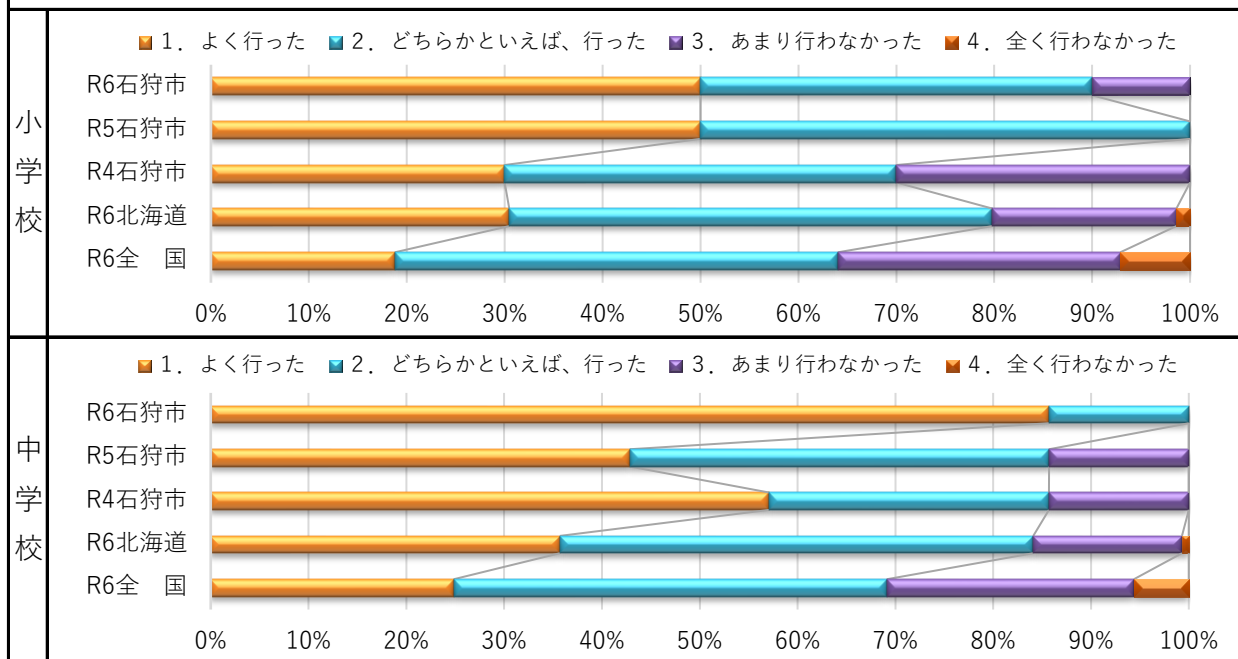
## V 小中連携、家庭や地域との連携

### 〔改善の方向性〕

- 教育課程に関わる小中連携の推進
- 児童生徒の資質・能力向上に関わる家庭・地域との連携の推進

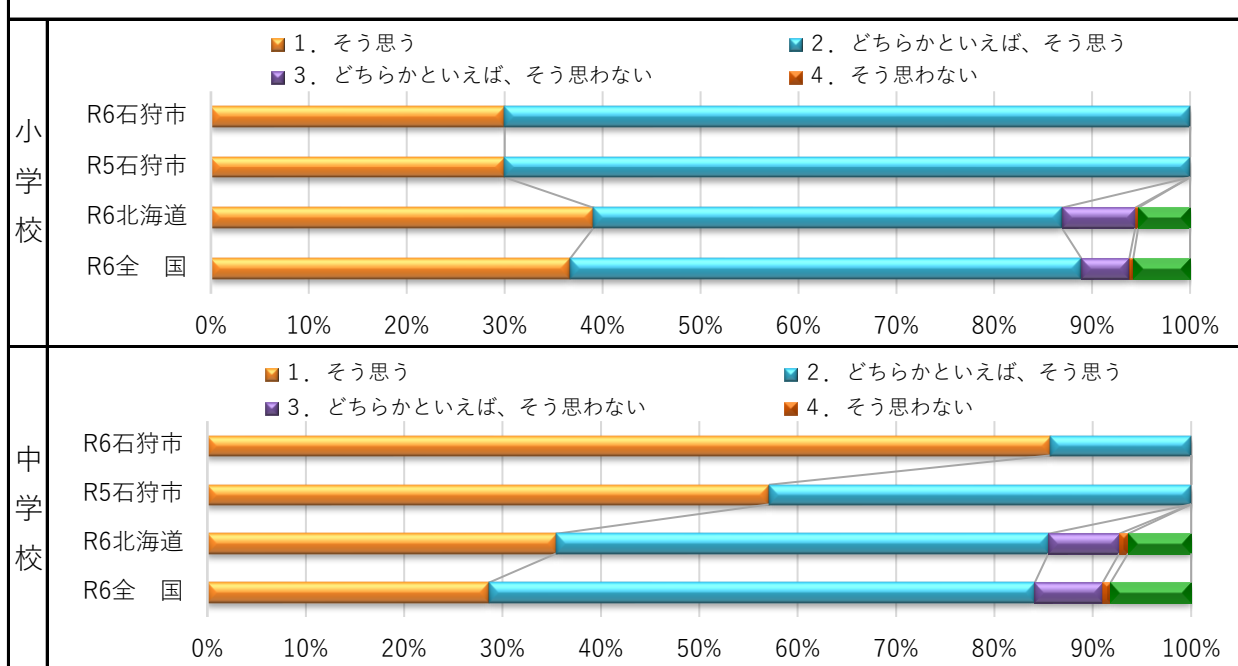
・「前年度までに、近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をよく行った」割合は、小学校で50.0%(全国比+31.2ポイント、全道比+19.5ポイント)、中学校で85.7%(全国比+60.9ポイント、全道比+50.0ポイント)でした。

### 25. 前年度までに、近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか



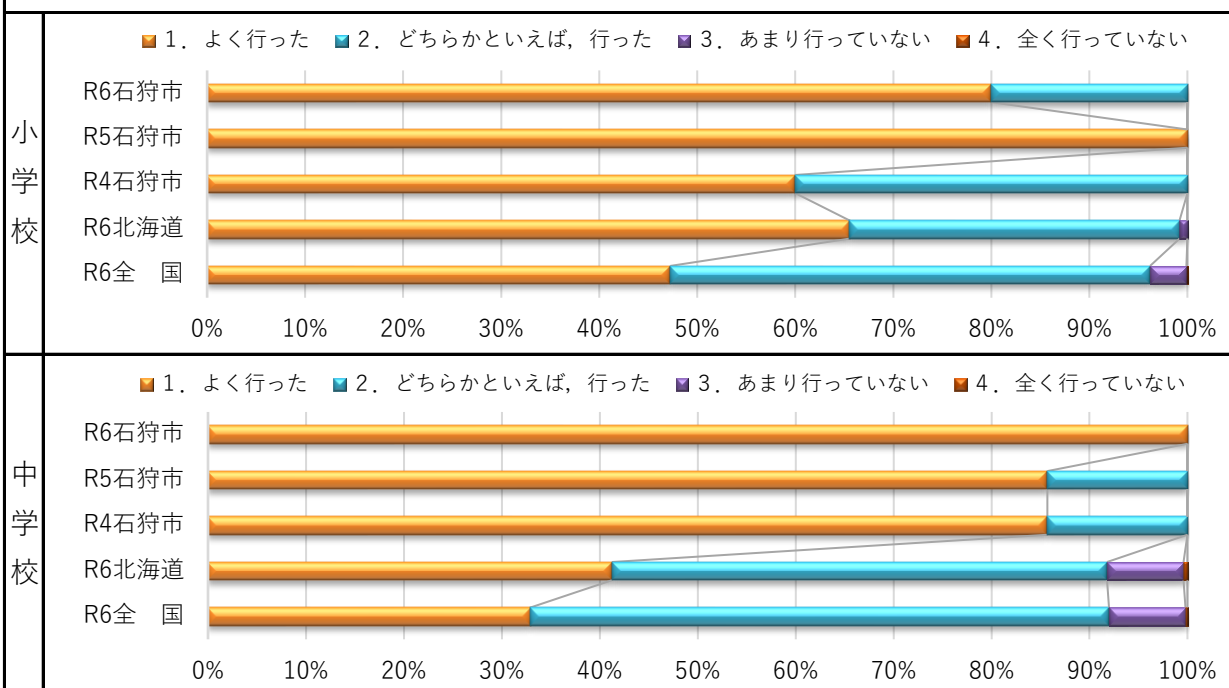
・「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった」割合は、小学校で30.0%(全国比-6.7ポイント、全道比-9.1ポイント)、中学校で85.7%(全国比+57.1ポイント、全道比+50.2ポイント)でした。

### 26. コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか



・「児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」の割合は、小学校で80.0%(全国比+32.8ポイント、全道比+14.4ポイント)、中学校で100%(全国比+67.1ポイント、全道比+58.8ポイント)でした。

**27. 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか**



・「児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動をよく行った」の割合は、小学校で50.0%(全国比+14.0ポイント、全道比-4.7ポイント)、中学校で85.7%(全国比+61.0ポイント、全道比+53.7ポイント)でした。

**28. 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか**

